

株式会社 BMS 横浜の事業継続計画 (Business Continuity Plan)

僕が BCP について知ったのは 15 年くらい前でした。
とある障害福祉サービス事業所が BCP についてとても真剣に考えていて、
感銘を受けたのを覚えています。
あれから長い月日が経ち、
巷で「BCP」という言葉を目にする機会が増えてきました。
仕事の時に「BCP は？」と尋ねられることも多くなりました。
社長一人しかいないような会社で BCP も何も・・・という気もしますが、
依頼して下さる方々への責任を考えると大事なのかなという気持ちもあります。
大した内容ではありませんが、株式会社 BMS 横浜の BCP について以下に記します。

2022 年 2 月

株式会社 BMS 横浜 代表取締役 大久保 豪

【被災等により業務関連設備が被害を受けた場合】

BMS 横浜の仕事は PC がいくつかあればできます。

問題は被災して PC が壊れてしまったときだと思っています。

そのような場合にもできるだけ早く業務を再開できるように、PC 本体にのみデータを保存することはせず、クラウドサービスや物理的な媒体にデータを保存するようにしています。社長さえ元気であれば、割と早く復旧できます。

会社の所在地（神奈川県横浜市）を含め、関東地方全体が被害を受けるような大規模災害が起きた場合にも業務ができる場所を愛媛県松山市内に確保しています。

【体調不良や急死等により業務の継続が困難になった場合】

あまり考えたくはありませんが、大いに可能性のあることです。

このようなことが起きた場合、関係各所にできるだけ早く連絡できるような体制を取っています。

業務自体についても、同様の仕事をしている友人、それもとて信頼している友人に仕事を引き継いでもらえるようお願いしています。その友人も忙しい方なので、全て引き受けてもらえるとは限らないのですが、できる限りのことはお願いできると思います。

以上